

## エネルギー講演会開催

「地域の発展とエネルギー ～いま 私たちが考えるべきこと～」



越善村長から開会の挨拶

2月4日、東通村体育館において、「エネルギー講演会」(主催…東通村、後援…東通村商工会、協賛…東北電力㈱、東京電力HD㈱)が開催され、約250人が参加しました。

当日は、環境・エネルギー関係の数々の役職を務めている常葉大学経営学部教授の山本隆三氏を講師にお招きし、「地域の発展とエネルギー ～いま私たちが考えるべきこと～」と題して、講演して頂きました。



山本隆三氏の講演

開会にあたり、越善村長からは、当村に立地する東通原子力発電所の現状にふれながら、「東通村は、昭和40年の誘致決議以来、一貫して国策である原子力政策に協力してきたところであり、今後もより一層の安全性の確保を大前提として、原子力発電所との共生による村づくりを進めていく」との挨拶がありました。

山本氏からは、「原子力発電には事故や廃棄物処理費用などリスクもあるものの、私達の給与に影響を与えるエネルギーコストを引き下げる、エネルギー自給率を向上させる、二酸化炭素排出を減らすなど多くのメリットがあるが、原子力がもたらすメリットは目に見えないため伝わりにくいということが大きな問題である。ただ、電気代・エネルギー安全保障・気候変動対策のどの面からみても原子力が必要不可欠である」とのお話がありました。

参加者からは、「地域の発展にはエネルギーの選択が重要だということがわかった」「原子力発電の必要性を改めて認識することができた」等のご意見が聞かれました。

## 華麗な舞、鮮やかな衣装で優雅に踊る！

～第35回下北地区子ども会郷土芸能発表会～



小田野沢子ども会による「つきあげ三番叟」

2月2日(日)、第35回下北地区子ども会郷土芸能発表会が開催され、下北地区の子ども会5団体が、祭り囃子や能など、各地域に伝承される郷土芸能を披露しました。

この発表会は、下北地区子ども会育成連合会(中嶋康夫会長)が主催。郷土芸能の継承に取り組んでいる子ども達にその成果を発表してもらい、地域住民の子ども会活動へのより深い認識と、子ども達の健全な成長を願うことを目的に毎年実施されているものです。



小田野沢子ども会による「餅つき踊り」

東通村からは、小田野沢子ども会が参加し、「つきあげ三番叟」と「餅つき踊り」の2演目を披露しました。

「つきあげ三番叟」では、小田野沢神楽会の拍子に合わせて、石ヶ森咲空くん、伊藤継准くんの2人が華麗な舞を見せていました。

「餅つき踊り」は、向井蘭さん、太田愛桜さん、駒谷心さん、木村雛多さん、川口心愛さんの5人が、鮮やかな衣装に身を包み優雅な踊りを披露しました。

一生懸命に演技を披露した子供たちに、会場からは大きな拍手が送られていました。